

授業計画

学年	区分	教科名	科目名	授業時間	対象
高校1年	必修選択	芸術	音楽 I	週2時間	高1音楽選択者
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の基礎力を固め、表現力が高まるよう指導し、自己の歌唱力を確立していくことを目指す。 ・「サウンド・オブ・ミュージック」の鑑賞を通して音楽の力、音楽の素晴らしさなどに気付かせる。 ・1人の大作曲家の生涯を学び作品を鑑賞する。作曲家の人生や時代の背景、人々とのつながりの中で音楽が生まれてくることに興味を持たせる。 				
学習教材	教科書 採択せず 副教材 『学生のためのコールユーブンゲンとコンコーネ』(教育芸術社)				
クラス編成	2クラス				
成績評価方法	前期、後期ともに歌唱テストと鑑賞シート(作品の事前学習と感想を書くシート) ・基本的に歌唱20点(基礎的音程テスト)プラス50点(独唱曲の歌唱)の70点分と鑑賞シート枚数分(1枚10点満点)				

年間スケジュール

学期	学習内容	備考(指導方法など)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 映画「サウンド・オブ・ミュージック」 キリスト教の信仰の上に人を本当に愛すること、その愛と神様に対して真実な 思いをもって生きることの素晴らしさを伝えている映画を通して本当に大切なものは何かを学ぶ映画を通して音楽が人の心を変えていく力を持っていることを知り、自己の表現に活かしていく。 ・歌唱「サウンド・オブ・ミュージック」より 'My Favorite Things' ・合唱「エーデルワイス」 映画を通して音楽が人の心を変えていく力を持っていることを知り、自己の表現に活かしていく。 	「エーデルワイス」のメロディにオリジナルの歌詞を創作。生徒の主体的な表現力を引き出し、伸ばす。 歌唱テスト「エーデルワイス」オリジナルバージョン
	前期中間試験(歌唱テスト、歌唱ルーブリック、鑑賞シートで評価)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱「サウンド・オブ・ミュージック」 合唱練習の中で個々がどう積極的に表現できるか、個々の表現が充実することで合唱の完成度が高くなることを知り、その必要性を学ぶ。 	
前期期末試験(歌唱テスト、歌唱ルーブリック、鑑賞シートで評価)		

学期	学習内容	備考(指導方法など)
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・モーツァルトの作品を通して生涯を学ぶ ①オペラ編 「フィガロの結婚」「魔笛」より ・コンコーネ1番練習及び試験 ・クリスマス礼拝賛美練習 サン・サーン作曲クリスマス・オラトリオより「みいつみかみにあれや」 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞シートを利用して学んだこと、感じたことを書かせる。作曲家は作品の中にメッセージを込めている。それを受け取り、感じたことを自分の言葉で表現させる。 ・クリスマス礼拝の中で賛美の機会を頂いている。人の心に届く音楽を実践する場として感謝して臨む。
	後期中間試験(歌唱テスト、歌唱ルーブリック、鑑賞シートで評価)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きクリスマス賛美練習 ・モーツァルトの作品を通して生涯を学ぶ ②レクイエム編 ・歌唱モーツァルト作曲「春への憧れ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞シートを用いる(同上) ・モーツァルトの生涯を学んだ上で「春への憧れ」を歌唱する。歌唱表現において相手に伝えることが出来る表現に到達できることを目指す。
後期期末試験(歌唱テスト、歌唱ルーブリック、鑑賞シートで評価)		